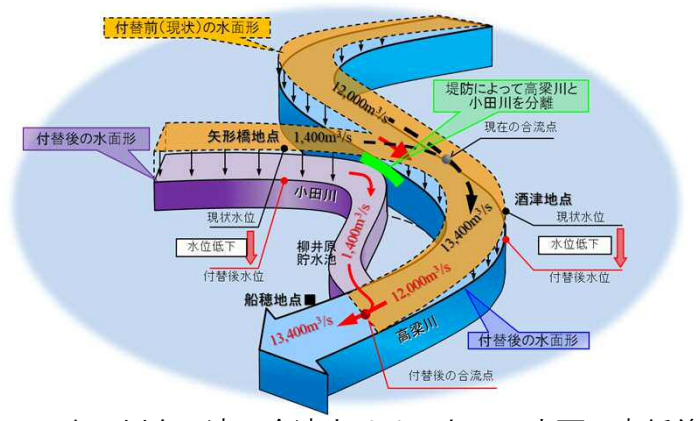


小田川合流点付替え事業等の効果

- 工事完成後は、平成30年7月豪雨と同等の流量※が安全に流れるようになる。
 - 矢形橋付近では堤防の高さから約5m低い水位 (H.W.L) 以下、八高橋付近では堤防の高さから約2m低い水位 (H.W.L) 以下で流下させることが可能となる。
- ※平成30年7月豪雨と同規模の降雨により算定した場合の流量であり、雨の降り方により効果は異なる。

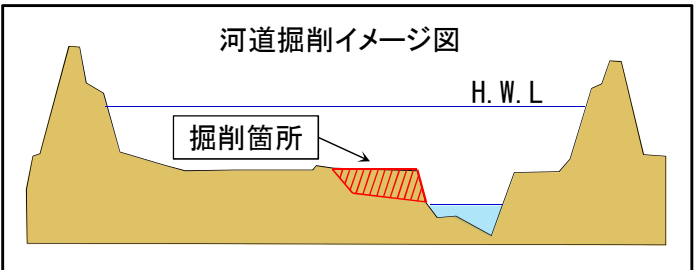
河川工事实施

1. 小田川合流点付替え事業



- 小田川を下流で合流させることで、水面の高低差が大きくなる。それにより高梁川のバックウォーターの影響範囲が小さくなることで、高梁川へ洪水が流れやすくなり、小田川の水位が低下する。

2. 小田川河道掘削

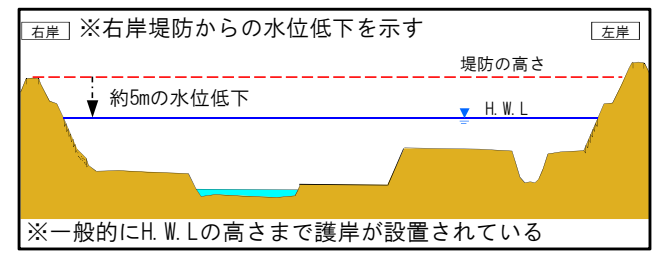


- 小田川の器を大きくすることで、洪水時の水位が低下する。

完成後

※平成30年7月豪雨と同規模の降雨により算定した場合の流量であり、雨の降り方により効果は異なる。

- 矢形橋付近で約5m低下した水位で洪水を流すことができる。



- 八高橋付近で約2m低下した水位で洪水を流すことができる。

